

政務活動報告書（県外・国外）

活動事項	宇宙産業クラスターの事例検証
活動年月日	令和2年11月8日～令和2年11月9日
場所	長野県議会，飯田市役所，飯田産業センター（S-BIRD）
活動の相手方	産業労働部産業技術課林俊哉課長補佐兼技術振興係長、斎藤通義課長補佐兼技術振興係長，飯田市長佐藤健，飯田産業技術センター事務局長兼飯田市工業課長市瀬智章、飯田市産業経済部長遠山昌和、飯田航空宇宙プロジェクトマネージャー松島信雄、事務局次長宮島剛
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 長野県庁、飯田市及びエスバード（南信州・飯田産業センター）を訪問し、国・県・市町村を巻き込んだ産業連携、支援体制のあり方の検証</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙産業クラスター形成の過程 ・産官学連携による宇宙技術支援体制の構築 ・長野県は飯田市下伊那郡を拠点とした特区・宇宙産業クラスターを形成。その現状と地元企業間でイノベーションのあり方を検証 <p>【結果（成果）等】 クラスター特区への進化形成としての、地域課題、新産業へのチャレンジの要件整理を行った上での拠点条件や、付加価値向上と雇用創出に向けた「産業振興と人材育成の拠点」（S-BIRD）の機能の詳細な説明を受け、また、人材育成面では、中長期的な構想をもとに、小中高等学校に向けた啓発的な教育、先鋭的な技術開発を目的とした学術拠点（信州大学飯田サテライト、バーチャル且つ企業向けの学術支援：飯田技術大学）について説明を受けた。研究開発の結果として必要とされる、実験機能を段階的に整備しており、従来実験検証フェーズでは、北米欧州に頼らざるを得なかった環境を段階的整備しており、機能充実度は日本一を誇る。構想から約20年の結実とも言える。 今後の鳥取県での宇宙産業形成における、産官学連携のあり方に生かす（令和2年11月議会一般質問）</p>
関連領収書番号	1105、1111、1112

政務活動報告書（県外・国外）

活動事項	カーボンゼロエミッションに関する取り組みの検証
活動年月日	令和2年11月18日、令和2年11月19日
場所	大崎クールジェンプロジェクト、中国電力本社
活動の相手方	大崎クールジェン（株）代表取締役社長 木田一哉 中国電力（株）経営企画部企画グループ担当課長 佐久本俊夫、電源事業本部立地部長 森田秀樹、中国電力ネットワーク（株）系統運用中央給電司令所所長 陰山浩志
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 カーボンゼロエミッションにおける、カーボンゼロリサイクルの事例検証及びカーボンゼロ環境に関する現状認識</p> <p>【内容】 ・国の「2050カーボンゼロミッション」実証実験の重要拠点大崎クールジェンプロジェクトを視察</p> <p>・中国電力経営企画部門主催の「エネルギー政策の動向 Carbon neutral 2050」と電源事業本部主催の「中央給電司令所の役割と電力の同時同量原則について」の講義</p> <p>【結果（成果）等】 ・鳥取県においては、今年1月30日に、2050年を目途とした「カーボンゼロ」を国、全国市町村に先駆け宣言したが、今回、世界の動向を睨んだ、鳥取県政を支える政策意図の共有と産官学交えた実質的な取り組みの必要性について今後の議会活動に活かす。</p>
関連領収書番号	1113、1117

政務活動報告書（県外・国外）

活動事項	宇宙産業クラスター形成に関する取り組みの検証
活動年月日	令和2年11月23日、令和2年11月24日
場所	政府合同庁、(株) ALE 東京本社、衆議院議員会館、参議院議員会館
活動の相手方	内閣府参事官毛利亮介、(株) ALE 社長岡島礼奈、(株) Space Shift 社長金本成夫、ニュースペース国際戦略研究所理事長坂本規博、石破茂衆議院議員、赤沢亮生衆議院議員、舞立昇治参議院議員
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙産業クラスター創生の実質的な取り組みの検証 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府の産業クラスター形成取組の検証(内閣府、経産省レクチャー) ・「宇宙技術を使って鳥取県を元気にするワーキングチーム」の立ち上げ <p>【結果(成果)等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「産業未来創造課」の創設に向け、県議会一般質問にて質疑活用する
関連領収書番号	1119、1120、1121、1122、1123、1125

政務活動報告書（県外・国外）

活動事項	県境の観光施策（鳥取県・島根県境）
活動年月日	令和3年2月15日
場所	境港市観光協会、由志園、足立美術館
活動の相手方	境港市観光課長、由志園副館長、足立美術館学芸員
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 鳥取県・島根県の県境観光振興のヒントアップ</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 境港市鬼太郎ロード（ICT を利活用して夜をリニューアル企画） 2. 由志園（假屋崎省吾氏とのコラボによる冬場の閑散期を演出） 3. 足立美術館（日本庭園極整備による普遍的なアイデンティティーの確立） <p>【結果（成果）等】 それぞれが日本山陰を代表地する観光地だが、それぞれに不断の努力が背景にある。 観光振興を目的に島根県との連携を模索する。</p> <p>今後の観光振興策として、一般質問等に生かす。</p>
関連領収書番号	209-2